

## 環境会計／環境債務

当社では、効率的な環境保全活動の実施と、取り組み状況の透明性を高めることを目的として、「環境会計」を実施しています。

2012年度は地球温暖化対策として全社で省エネルギー・省資源に取り組みました。その結果、ガスタービン設置や排熱回収などの地球環境保全への投資が約2,643百万円へととなり、環境保全に関わる全投資額は前年度に対し3.2倍の増加となりました。

今後も、環境会計の適切な把握を行い、環境保全を推進していきます。

物量に関する環境保全効果については「ダイセルグループ レスポンシブル・ケア活動の目標と活動報告」(「ダイセルグループ CSR報告書2013」40～41ページ)および「環境保全」(「ダイセルグループ CSR報告書2013」42～43ページ、「CSR報告書2013詳細報告」(<http://www.daicel.com/csr/library.html>))に記載しました。

また当社は環境問題への取り組みが求められる中、アスベスト対策、ならびにPCB対策にかかわる環境債務を把握しています。

集計期間：2012年4月～2013年3月

集計方法：環境省発行の「環境会計ガイドライン2005年版」、日本化学工業協会発行の「化学企業のための環境会計ガイドライン」に準拠して算出。

投資額：2012年度の環境保全に関する設備の投資実績。

費用額：環境保全に関する設備の減価償却費・設備維持管理費・人件費などの実績値。

環境保全対策に伴う経済効果：実質的効果のみとし、リスク回避効果やみなし効果は含まない。経済効果のエネルギー費用の削減効果については、実施した省エネルギー対策の12カ月間にわたるエネルギー費用の削減効果を計上した。

### ⑤ 環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	投資額 (百万円)	費用額 (百万円)
生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)		2,821	3,569
内 訳	公害防止コスト	150	2,151
	地球環境保全コスト	2,643	16
	資源循環コスト	28	1,402
生産・サービス活動に伴って上流または下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト(上・下流コスト)	容器包装リサイクル負担、グリーン購入	0	95
管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)	環境管理人員費、環境マネジメントシステム運用・維持経費、環境教育費用、環境負荷対策費用	0	537
研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	製品・製造工程環境負荷低減テーマでの研究開発	17	120
社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)	緑化・美化などの環境改善活動、地域行事参加、会費	0	31
環境損傷に対するコスト(環境損傷コスト)	自然修復費用、環境保全に関わる損害賠償費用等、自然損傷に対応する引当金繰入および保険料	0	4
合計		2,838	4,356

項目	金額 (百万円)	環境比率 (%)
当該期間の設備投資額	11,361	25
当該期間の研究開発費	8,289	1.4

### ⑤ 環境保全対策に伴う経済効果－実質的効果－

項目	金額(百万円)
省エネルギーによる費用削減	595
省資源による費用削減	631
再資源化により得られた収益	232
廃棄物処理費用削減	38
合計	1,496